

俺の名前は青木清。探偵だ。

8月、熱闘甲子園を見ていると、  
一本の調査依頼の電話が入った。

「ささんかという店を調べてほしい。」



店長の森田さん

料理人のパンさん

翌日午後7時過ぎに俺はMKビルの前に立った。店の扉には漢字で「山茶花」ローマ字で「SAZANKA」と表記されている。間違いないこの店だ。俺は店に入った。店内はカウンターが約5席、2人掛用と4人掛けのテーブルが各1組ずつある。奥のカウンターでは高齢の女性が冷やし中華をすすっていた。やはり、今は真夏なのだ。カウンター向こうのの厨房では中国の地から来た料理人と、店長らしき日本人が黙々と調理をしている。改めて言おう、ここは中華屋だ。俺は珍しくメニューを開いた。なぜって？それは中華料理で俺の好物はピータンだからだ。この店にピータンはあった。そしてもうひとつ興味深い発見があった。久地ビール。

俺は久地ビールとピータンを注文した。

だが、店長から「今日は久地ビールは切らしてしまっていて・・・。」と謝られた。少々残念だが仕方ない。俺は瓶ビールに注文を切り替えた。

しばらくすると、瓶ビールとピータンがテーブルに並んだ。冷えたビールの黄金色とピータンの白身部分のコーヒゼリーのような色合いは相性が良い。ピータンをつまむ。うまいじゃないか。かつて俺の父親にピータンはダチョウの玉子から作るのだと教えられたことがある。だが、店長に訊いてみると答えはアヒルだった。

ひと段落して、俺は店を出た。この頃、体が重い。夏バテだろうか。明日は探偵事務所を臨時休業し、涼しい部屋で真夏の甲子園球児を応援しよう。そうめんをすすりながら・・・ふと、ロンドンの暑い夏がもうすぐ終わることを思い出した。

## ■旬菜中華 山茶花（ささんか）

営業：午前11:30～22:00

定休日：日曜

住所：住所：神奈川県川崎市多摩区堰3-11-16 MKビル1F

電話：090-2205-5396